



## 新年挨拶 病院長 新井一成

年頭にあたり、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

開院当初は足並みを揃えることに苦勞した面もありましたが、9ヶ月余り経過して無事に新年を迎えられますのは、地域の皆様のご理解とご協力ならびに全職員の尽力のおかげであり、深く感謝しております。

当院は附属豊洲病院を継承し、さらに医療提供体制を拡充するために診療科目を増設。急性期医療を担う地域中核病院として救急医療も積極的に取り組んできています。そして特筆することは、土曜・日曜日も平日と同様に診療する体制をとっています。開院にかかわるストレスばかりではなく新しい取り組みに対して違和感を持たれた方もいらしたかもしれませんが、時間の経過とともに上手に消化されて、新しい医療文化が構築されつつあると実感しています。

年も改まり、いよいよ一医療施設として厳格に評価をされることとなりますので、よりよい病院を目指して職員一丸となって頑張ります。



昭和大学江東豊洲病院

### 第9号のピックアップ

- ・ 新年挨拶  
— 病院長・看護部長  
事務部長 —
- ・ 職場体験学習  
— 江東区立有明中学校 —

## 看護部長 石橋悦子

新年、明けましておめでとうございます。

当院は、昨年3月24日に開院し、初めての新年を迎えました。病院の理念である「まごころの医療」をもとに、看護部では「やさしい看護の提供」を目標に、看護職員一人ひとりが安全で安心の看護を提供するための努力をしてみました。お陰様で、看護師・助産師も、開院当初の182名から約300名まで増えました。まだまだ駆け出しの組織ですが、地域に密着した選ばれる病院の看護部として、なお一層努力してまいりたいと思います。何卒、今年もどうぞ宜しくお願い致します。



## 事務部長 荻原範親

新年を迎えお慶びを申し上げます。昭和大学江東豊洲病院は、高度で先進的な医療の提供と医療人の育成を目的として平成26年3月24日に開院いたしました。同日から土曜日・日曜日にも通常の診療を行い今日では一日の外来患者数が約550名、入院患者延数が約210名を数えております。この間、急性期病院として機能の充実に図り、8月1日付で救急病院の指定。9月1日付にて特定集中治療室管理の届出。11月21日付にて地域災害拠点病院の指定を受けました。年明け早々にも新生児特定集中治療室管理の届出を行う予定です。今後も教職員一丸となり地域の中核病院としての重責を担うべく努力してまいりますので皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



おがさわら きょうこ

### ◆職場体験学習 看護部 小笠原 京子

平成26年11月26日（水）～28日（金）の3日間、有明中学校の生徒さん3名が体験学習をおこないました。看護師のユニホームを身にまとい興味深げに院内を見学していました。

最初の2日間は看護師と共に、手術室や病棟、外来や検査室などに行きました。手術室では手術場面を見学をしたり、手術台の上に実際に寝てみて手術を受ける患者さんの体験をしました。また、病棟では看護師と共に実際に患者さんとふれあい、病気をすることの大変さ、看護の必要性を感じてもらうことができました。3日目は放射線室、薬局、臨床工学室、臨床病理検査室など病院の中で患者さんを支えている部署の見学をしました。多くの職種がチームとなって一人の患者さんを支えていることも感じてもらったのではないのでしょうか。将来看護師を目指している生徒さんもいるようでした。そんな子供たちの夢のお手伝いができるよう、私たちが医療だけでなくさまざまな分野で地域に貢献していきたいです。



## 職場体験学習 感想文 江東区立有明中学 2年生

私はもともと看護師のお仕事に興味をもっていて、そして今回このような体験をさせてもらえてすごく感謝しています。

特に、今回印象に残ったのは、手術をしているところを直接見たことです。こうやって手術をしている所を目のあたりにしてたくさんの感情がわいてきました。体験をする前から思っていたこともあったけれど、実際に見て、また新たな感情がわいてきました。看護師さんというお仕事は私が思っていた患者さんの介護だけではなく、手術に立ちあたり、お薬の説明をしたりなど他にもたくさんのお仕事があるんだと改めて思うことができました。また、病院は医師と看護師では成り立たないということを知ることができました。

(齋藤彩羅)



三日間本当にお世話になりました。この、三日間でたくさんの事を学びました。

特に、印象に残った事は、手術をしている所が印象に残っています。

良くドラマとかで手術シーンをみます。テレビで見ている時とは違って、生で手術をしている所を見るとちょっと怖かったけど、感動しました。心臓の手術を見させてもらって、「すごい」と言う言葉しか出てきませんでした。直に、手術を見させてもらったという、貴重な体験をしました。

看護師さんのお仕事を体験して、改めて大変な仕事だなと思いました。どんな、患者さんでも優しく対応する事が、とても大切なことなのだ、この三日間で分かりました。(藤掛さくら)



私は三日間の職場体験でたくさんのことを学びました。

まず二日間は看護師さんと一緒に、救急病棟で働かせていただきました。様々な患者さんと接し、改めて病院は命を預かっている所なんだなと思いました。



三日目には、病理関係の仕事の体験をさせていただきました。とくに心に残っているのは薬剤師さんの体験をさせていただいたことです。今までは薬剤師さんの仕事はあまり興味がなかったけれど、今回の体験で薬剤師さんの仕事に興味を持ちました。



私は小学校三年生の時から、看護師さんになることが夢だったので、今回の職場体験を自分の糧とし、たくさん勉強をして夢を叶えたいです。(濱川響来)

※感想文は生徒さんが書いた文章をそのまま掲載しました。



は せ が わ ま こ と

## 編集後記 放射線診断科 長谷川 真

新年明けましておめでとうございます。早いもので、9号の発刊となりました。開院以来、慌ただしい日々が続きましたが、やっと新しい年を迎えることができました。本年も、より良い広報誌をめざします。御意見、御要望がございましたら、些細なことでも、ぜひ広報委員へお知らせください。皆様と、病院にとって、良い年となりますよう、祈念し、新年号の後記といたします。



昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲5-1-38

TEL03-6204-6000 (代表)

発行責任者：新井一成 編集責任者：長谷川真



Showa University Koto Toyosu Hospital